

**活動報告**      **技 術 部** (1992.6~1992.12)

部 長：早稲田嘉夫（所長）；副部長：北村 強；専任教官：松本 實

運営委員：（委 員 長）板垣乙未生，

（委 員）早稲田嘉夫，井上博文，松本 實，北村 強，佐藤史生，照井敏勝

技術職員：（共通室系）北村 強，大泉 浩，菅井貞純，天満元昭，佐藤史生，佐藤雄孝，  
伊東益雄，釜谷 隆，

（研究室系）近江光雄，氏家速雄，佐藤清二，高野勝利，坂田和夫，照井敏勝，  
伊藤良雅，石井正夫，橋本裕之，

技術部は選鉱製錬研究所が素材工学研究所として改組されたことに伴い、「研究所の研究教育における技術的業務を円滑かつ効率的に遂行するとともに，技術の向上，発展，継承を図る」ことを目的に，新たに所内組織として技術職員を組織化することによって設けられたもので，「技術部設置要項」が技術部設置委員会による審議を経て，1992年5月の教授会において承認され6月1日付けで設置された。

技術職員は全員が技術部に所属し，現在は大別して共通室系と研究室系とに所属して，共通室系では共通研究機器・分析機器の操作・保守・管理や利用の指導，また試作工場の業務等に従事し，研究室系では研究室における研究・教育での技術的業務および学生等への技術指導に従事している。

技術部業務の円滑な推進を図るため「技術部運営委員会」がおかれ，また，技術部運営の諸事項の調整を図るために「技術職員会」が組織された。

技術部は発足したばかりで，現在その目的に即した組織体制の整備をすすめてつある。

1992年の状況は以下のとおりである。

## 1. 技術職員の配属

「要項」では技術職員を，実験計測，解析評価および基盤整備の3グループに所属分けすることになっているが，今年度は技術部への移行経過措置として，従来の業務との関連も考慮し，大別して共通室系と研究室系に分けて技術職員の所属配置を行なった。目的に沿って，年度ごとの見直しが必要となっている。

## 2. 技術職員会

### (1) 技術職員会の設置と役員の選出

「要項案」にもとづいて「技術職員会」を設置し，会長に北村 強技官を，総務係に佐藤史生技官を選出した。

### (2) 技術職員会の開催

第1回：1992年6月2日（技術職員会設置の確認，運営委員の推薦，技術部室のあり方，他）

第2回：1992年7月3日（技術職員の所属配置，他）

第3回：1992年10月14日（研修問題，一般設備費予算要求，試作工場問題，技術部室，他）

第4回：1992年12月22日（工場問題，業務報告様式，業務上の事故，他）

### (3) 「技術職員会だより」の発行

会報として，会の諸連絡・会合まとめや，関連する情報などを内容に「技術職員会だより」をこれまで4号発行している。

### 3. 運営委員会

#### (1) 委員会の設置と委員長の選出

「要項」にもとづき「運営委員会」の設置を確認し、委員長に板垣乙未生教授を選出した。

#### (2) 運営委員会の開催

第1回：1992年6月29日（会構成の確認と委員長選出，部長・副部長候補者の選出，技術職員のグループ配置方法，他）

第2回：1992年8月25日（技術職員の当面の所属配置，工場問題，他）

### 4. 技術部ミーティング

技術部内の諸事項についての討議および意見交流の場として「技術部ミーティング」を随時に開催することにし，第1回目を11月13日開催し，当面の諸問題について意見を交わした。

### 5. 技術部室の設置

技術部の新設にともない，1号館116号室を整備し技術部室を設けた。現在は1室であるが，今後技術職員の居室として技術部室を増やしていく予定である。

### 6. 研修の実施

技術職員の研修事項・内容等については検討中であるが，現在「研修計画書」を作成し，これにもとづいて研修の実施を開始している。技術部設置以前も含め，今年の実施は次のとおりである。

期 日	氏 名	研 修 先	研 修 目 的	備 考
3月9日 ～12日	北村 強 佐藤史生	東京大学物性研究所 岡崎国立共同研究機構 分子科学研究所	技術部組織調査 同 上	当所での技術部設置に先が け技術部資料の収集および 実態調査
		理学電機工業KK 技術センター	蛍光X線分析装置 見学・技術討議	購入および購入計画装置の 見学・技術討議・仕様調査 等
		島津製作所秦野工場	複合表面分析装置 見学・技術討議	
		アルバックファイKK	同 上	
11月25日 ～26日	石井正夫 伊東益雄	東京工業大学 100年記念館	「エンジニアのための 材料技術」 講習会参加	技術講義

### 7. 試作工場対策

試作工場担当職員2名が数年後に定年退職を迎え，依頼工作の機能の維持が危惧されることから，今後の対応を検討するため運営委員会のもとに工場対策小委員会（委員長 井上博文助教授）を設け，試作工場のあり方，管理・運営，安全対策等について具体的審議を行なっている。

### 8. 技術部報

技術部の業務報告や業務紹介，研修報告，技術紹介や技術資料，技術部に関すること（あり方など）を主な内容として，「技術部報」の発行を計画しており，現在原稿募集を行なっている。